

放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 平成31年 2月 13日(水)

2、開催場所 燕市大曲 燕三条エフエム放送 会議室

3、委員の出席

・委員総数 …… 8

・出席委員数 …… 5

・出席委員の氏名…上村 浩昭委員長、田邊とも子委員、遠藤 愛子委員、
瀬戸明委員、神田晃委員

・欠席委員の氏名…市島清貴委員、本間幸美子委員、坂内紀美子委員

・放送事業者側出席者…阿部代表取締役社長、阿部局長、本間取締役、高井唯行

・放送事業者側欠席者…なし

4、委員長挨拶 上村委員長

いつも JR 東日本をご利用いただきありがとうございます。3月にダイヤ改正が予定されていて、上越新幹線の車両に北陸新幹線で使われている「E7系」の新車が入ってきます。それによって、現在運行している「MAX」の車両が徐々になくなります。また、E7系のグランクラス公開のを予定していますし、3月16日のダイヤ改正の日に出発式を行います。E7系の多くのご利用をお願いします。

ご存知かと思いますが、3月末日をもちまして、「びゅうプラザ燕三条」が閉店します。長い間ご愛顧いただきありがとうございました。県内のびゅうプラザは新潟、長岡の2か所のみとなります。ネットでの予約が増えたこと、そのため店舗での営業が立ち行かなくなったことが理由です。

それから、年末年始の車両故障・停電、変電所の火災による列車の運休などトラブルが続き、ご利用者には大変ご迷惑をおかけしました。

もうひとつ、燕三条駅の改修を行う予定でしたが、諸事情により仕切り直しとなりました。今後動きがありましたらお伝えしようと思います。

JR 関係の話で申し訳ございません。それでは本日もよろしく願いいたします。

5、事業者側経過報告 阿部代表取締役社長

今日もお忙しい中、弊社の番組審議会にお集まりいただきありがとうございます。

今年は雪が少なく、送信所周辺で送電線が断線するなどの被害がないのでほっとしております。

さて、昨年社長の交代があり、前年度の踏襲で事業を継続してまいりましたが、4月の番組改編をめぐり新規事業の準備に取り掛かろうと考えているところです。ひとつは、市民向けのラジオ配布です。三条・燕両市のラジオの在庫がなくなりつつありますので、スポンサーとの共同で作成に取り掛かろうというところです。ふたつめに、防災対応として中継機器(ラジオマイク)の有効活用を考えております。いざという時の為、レギュラー番組で活用し、検討していきたいと考えております。

おしまいに、12月からおしらせしております「コンサート」ですが、3月26日に予定しております。みなさまにもお出でいただきたいと思います。本日もよろしく申し上げます。

6、議題内容

(1)「三愛 Presents docomo で昼ラジ」(木曜12時30分～13時00分)について

2月7日(木)放送分

(2)次回の番組審議委員会の日程について

～番組試聴(抜粋)～

(1)「三愛 Presents docomo で昼ラジ」

上村 委員長:たのしく、テンポがいいと思いました。ただ、番組内容で、docomo の PR や三愛さんの PR が多いように感じて、全編 PR 番組に聞こえます。それと、出演者の「マークくん(三愛三条店店長)」の声が大きすぎて聞きにくいところがあったんですが、なぜそうなったんですか？

事務局(高井):出演者はマイクを手持ちでやってもらっているのですが、マイクが口元に近づいたり離れたりするんですね。注意したいと思います。

瀬戸 委員:番組がにぎやかすぎですね。落ち着いて話が聞けるところと、弾けるところと、「メリハリ」があるといいですね。スマホの話題が主だったので、若年層向けの番組に聞こえました。

神田 委員:アプリの使い方など取り上げられていましたが、ネタ切れを起こすことはないのでしょうか。どうやってここまで番組を続けて来られたのでしょうか。あと、エコーが効きすぎで、おしゃべりが聞き取れないところがありました。

阿部局長:この番組は長く続いていまして、5～6年くらいになりますが、一度もネタ切れを起こすことなく、いつも楽しく番組を続けていました。

遠藤 委員:スマホを使っています。スマホ教室がありまして、お話を聞くと万代の方が多くいらして、スマホを使う上での「専門用語」がわからないと言っています。年齢層が高い人も番組を聞いていると思うので、「やさしいスマホ用語」みたいなコーナーがあるといいと思います。それと、笑い声が多いですね。

田邊 委員:この番組の放送時間はテレビ番組を見ている時が多くて、はじめて聞かせていただきました。楽しい番組だと思いました。私もスマホを何とか使っていますが、「スマホ教室コーナー」として、スマホ用語の簡単な説明を設けてくれるとありがたいです。1か月にひとつでもいいので、いかがでしょうか。若い人が聞かれているのでしょうか？

阿部 社長:そう多くないと思います。

遠藤 委員:さっき言ったように、スマホ教室に通っていますが、用語がバンバン出てくるので疲れます。

阿部 社長:この番組は買い取り番組なので、どうしても PR 要素が多くなります。いかに、「おもしろ、おかしく」伝えられるかという意図があります。リスナーも高齢者層に受け入れられるよう、スポンサーも考えています。上村委員長がおっしゃっていた音の大小ですが、何

分ししゃべり手がミキサーもやっております、どうしても技術的な負荷がかかってしまいます。

上村 委員長:おしゃべりのテンポ感は、もう少しゆっくりでもいいのでは。

田邊 委員:やはり、番組が若者向けなんでしょうか。

阿部 局長:放送中、お昼休みに男性リスナーがスタジオに多く来るので、どうしてもそちらに向かって話してしまうのかもしれませんが。番組が終わった後、スポンサーの三愛さんに質問される人も多いと聞いています。

阿部 社長:2人のメインパーソナリティーが話のやりとりをすると、どうしてもにぎやかになるんです。キャラなんですね。

田邊 委員:明るくていいと思いますよ。

本間取締役:番組の PR 色が強いという話が出ましたが、「キューピー3分クッキング」と思ってくださればいいと思います(笑)。あの番組も、結構スポンサーの色が強いですね。

阿部 社長:番組構成なども再検討しています。聞きにくいところなども考えます。

遠藤 委員:早口で伝わりにくいところもありますね。

阿部 社長:出演者のマーくん一人だと聞いてもらえない。2人のパーソナリティーに引っ張られて番組を盛り上げているところもあります。

田邊 委員:スマホをテーマにしているのは、時代かもしれませんね。

阿部 社長:「LINE」とか、周辺の話題も出てくるのでいいです。

神田 委員:「カカオトーク」もありますし。LINEトークはフリーで使えますからいいですよ。

田邊 委員:私はLINE使っていません。

神田 委員:青年会議所でもLINEは使っています。共有できるので使いやすいです。それに、一度に全員が見ることができるので、最近はメールは使いません。

本間取締役:スポンサーの三愛さんは、ラジオを使って何かできないかという取り組みをしています。それに応えられるよう弊社が応じています。テンポ感や音のバランスなど意見を頂戴しましたが、番組はおもしろいと思います。

阿部 社長:アプリを使って、ラジオの音声を流せないか(サイマルラジオ)との提案を受けております。課題ですが、アプリを導入して番組制作に生かすことも検討したいともいます。もうひとつ、「観光」と地元の「新潟経営大学」をコラボした番組も考えています。

上村委員長:JRも地域の新しい取り組みとして、「名物を見つけ、育て、人を連れてくる・・・」といったことを考えていまして。今回の番審はヒントになります。

神田 委員:青年会議所でも「観光大会」があるので、下田地域に着目して取り組みたいです。

(2) 次回の番組審議委員会の日程について
4月19日13時30分予定。

8、その他・意見交換等
特になし。

閉会

9、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容及び年月日
自社放送 平成31年2月14日(木)
書類のエントランスホールへの備置き 平成31年2月18日(月)
自社HP上に記載 平成31年2月18日(月)

10、その他、参考となる事項
特になし